

新幹線車両所等の活用による観光プラン(概要版)

<テーマ>

白山の恵みと北陸新幹線 新しい旅の提案

白山市及び能美市、野々市市、川北町の3市1町は、日本三名山として知られる白山の恵みを楽しんでいます。

地域が長い時間をかけて守り育ててきた「水(みず)」「時間(とき)」「技(わざ)」に新幹線車両所等の鉄道の魅力を新たな素材として最大限に活用した観光振興策を3市1町が連携して進めます。



計画策定の背景と観光プランの必要性

2015年3月14日に北陸新幹線金沢が開業し、これに合わせ白山市に白山総合車両所が供用開始されました。

この車両所は、最先端の鉄道技術を有しており、鉄道愛好家の他、子どもたちや先端技術に興味を持つ者にも魅力的な価値を有しているものであります。

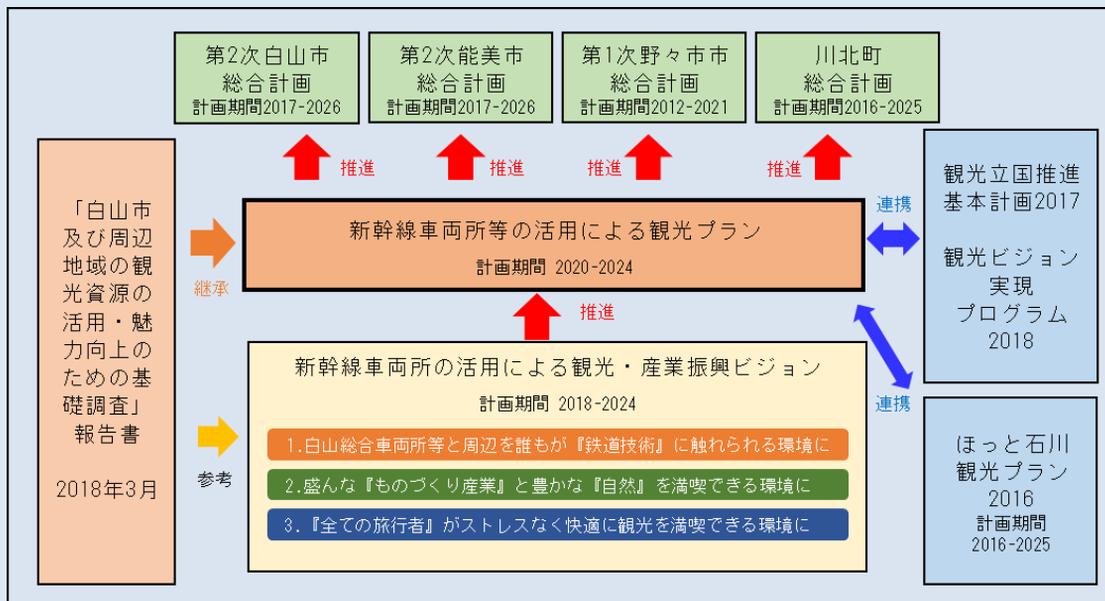
この価値を観光資源として活用し、周辺の観光資源との連携のもと、地域の観光資源の魅力を高め、地方創生の礎とするため、2017年に3市1町において「白山市・能美市・野々市市・川北町地域振興ビジョン策定協議会」を立ち上げ、「新幹線車両所の活用による観光・産業振興ビジョン」を策定し、観光振興と産業振興の強化を図ることとしました。

これを踏まえ、今回、白山総合車両所及び近隣に建設を予定している(仮称)白山総合車両所ビクターセンターの観光活用を想定し、白山市が中心となって「新幹線車両所等の活用による観光プラン」を策定し、3市1町地域の観光資源を活用した観光振興策のもと連携を深めることとしました。

観光プランの位置付け

本プランは、2018年3月に策定された「新幹線車両所の活用による観光・産業振興ビジョン」に掲げる目的に基づき、観光施策を掲げて3市1町における観光振興を図り、各市町の総合計画を推進するための行動指針として位置付けられます。

<新幹線車両所等の活用による観光プラン(案)の位置づけ>



基本方針1 たかめよう「観光の稼ぐ力を高め、地域を支える産業に」

新幹線車両所や企業の技術を活用した産業観光を推進し、地域の資源と連携した誘客により、観光地や商店街での観光消費の拡大に努めます。

- ① 新幹線車両所等の活用
 - (1) 新幹線車両所等の見学者受入環境の整備
 - (2) 鉄道見学・体験施設の建設
 - (3) 3市1町の観光資源との連携
- ② 多様な観光資源の活用による魅力向上
 - (1) 先端技術と伝統産業を活用した産業観光の推進
 - (2) 白山手取川ジオパークの観光活用
 - (3) 地域資源の磨き上げによる魅力の向上
- ③ 地域経済の活性化
 - (1) 観光資源の旅行商品化
 - (2) 商店街や観光拠点等での消費の拡大

基本方針2 ひろめよう「地域ブランドを広め、訪ねてみたい魅力に」

新幹線車両所等を活用した観光地のイメージ形成を図り、ブランド化を進めます。国内観光客及び訪日外国人観光客に向けた情報発信を強化します。

- ① 観光地イメージの形成
 - (1) 観光地イメージの形成とブランド化
- ② 鉄道のまちの創造
 - (1) 「鉄道のまち」を活かした取り組み
- ③ 3市1町の情報発信とPR
 - (1) 情報発信の強化及び戦略的なプロモーションの展開

基本方針3 むかえよう 「旅行者が快適に観光を満喫できる環境に」

3市1町を訪れた旅行者に、「来てよかった」「また訪れたい」と感じてもらうため、受入態勢の整備を進め、ホスピタリティあふれるおもてなしに努めます。

- ① 国内外の多様な観光客や団体にも対応可能な受入環境整備
 - (1) 国内外の旅行者への受入環境の整備
- ② 観光利便性の高い移動手段及び交通施設の充実
 - (1) 移動手段の確保
 - (2) 在来線施設及び周辺整備
- ③ 3市1町の観光を推進するための人材育成と組織力の強化
 - (1) 観光地域づくりの推進と人材育成



白山総合車両所
(白山市)



九谷焼資料館
(能美市)



末松廃寺跡
(野々市市)



加藤和紙
(川北町)

3市1町の観光に関する課題を整理すると、以下のようにまとめることができます。

- ①白山総合車両所の観光資源としての活用
- ②多様な観光資源の活用
- ③観光需要と消費の拡大
- ④観光地イメージの形成とブランド化
- ⑤観光客の受入環境の整備
- ⑥移動手段の確保
- ⑦観光地経営と人材育成

内
部
環
境

(1) 強み

- 新幹線などの最先端技術、牛首袖、九谷焼などの伝統・歴史を感じさせる豊富なものづくりの産業が存在している
- 新幹線、在来線、私鉄の鉄道関連施設が近接している珍しい地域である
- 白山総合車両所周辺での（仮称）白山総合車両所ビジターセンターの建設計画がある
- 日本三名山である「白山」の知名度、ブランド力が高い
- 白山国立公園をはじめとする豊かな自然がある
- 国内有数のジオパークがある
- 環白山に存在する魅力的な観光地との連携の可能性がある
- 国内外から多くの観光客が訪れる金沢から至近の立地である
- 各市町に存在する清酒や発酵食などの特産品の活用の可能性がある

(2) 弱み

- 3大都市圏において観光地としての認知度が低い
- 地域資源を活用しきれていない
- 通過型の観光地となっており、滞在時間が短い
- 宿泊施設が少ない
- 二次交通が充実していない
- 大人数を受け入れられる観光施設がない
- 3市1町が一体となって観光を推進する組織体制が弱い
- 外国人受入環境整備が進んでいない

外
部
環
境

(3) 機会

- 2023年北陸新幹線敦賀延伸
- 金沢をはじめとする周辺観光地の賑わい
- 産業観光や体験観光の人気の高まり
- 訪日外国人旅行者の増加
- 国内外の観光客の個人旅行化によるドライブ観光の需要の高まり
- 金沢港へのクルーズ船寄港の増加
- 2019年香港から小松空港への定期便の就航
- 中部縦貫道自動車道の全線開通

(4) 脅威

- 人口減少による国内旅行者の減少
- 観光産業の担い手不足
- 大型観光地からの周遊不足
- 消費税増税等による旅行消費の冷え込み

目指す目標

1 3市1町の入込客数

年度	2018年	2024年
入込客数	7,790千人	8,100千人

2 3市1町の延べ宿泊客数

年度	2018年	2024年
宿泊者数	340千人	350千人

3 3市1町の来訪者満足度

年度	2018年	2024年
満足度	80%	85%

4 3市1町のリピーター率

年度	2018年	2024年
リピーター率	70%	75%

5 3市1町の旅行消費額

年度	2018年	2024年
1人あたり消費額	22,000円	23,100円

6 WEBサイトのアクセス状況

年度	2018年	2024年
アクセス数	100,000回	135,000回

観光組織体制の構築にむけて～

- ① 観光団体：観光の運営を主体的に行い、自主財源の確保とマネジメントの強化に向けた取組を推進します。
- ② 民間事業者：民間企業ならではのアイデアやノウハウで観光客を迎え入れるとともに地域の魅力発信を行います。
- ③ コミュニティ組織・協議会等：地域のコミュニティ活動を通じた市内外の交流を促進し、交流人口拡大に向けた様々な取組を進めます。
- ④ 住民：3市1町内外からの来訪者との交流を深め、観光振興に取組みます。
- ⑤ 行政：観光推進のための組織運営支援や事務手続きの補助等、主に観光振興のバックアップを行います。

新幹線車両所等の活用による観光プランについてのお問い合わせは

白山市観光文化スポーツ部
観光課

〒924-8688 白山市倉光2-1
TEL:076-274-9544 FAX:076-274-9546